

大阪工業大学 應援團 報



題字：青井忠正学長

発行所 大阪工業大学 應援團 発行責任者 井上弘康 編集責任者 霜村丈明 大阪市旭区大宮5丁目16番1号 TEL (06) 952-3131



学生歌

一、永久の流の淀提の 吾がユタの偉容なり 学が自由独立に あこがれ集う青春の 花らんさん今開く 見よ麗はしの此の学園 二理想をひわし若人が 四年の春をらざりては 文余の潮にまよおさして 共に誓いし健児等が 今雄々しくど、振立つ 見よ熱烈の此の意えを

祝・入・学

團報第十号

第十八代團長挨拶

大阪工業大学 應援團 團長 井上弘康



新入生諸君、入学おめでとう。諸君はそれぞれの夢と希望を抱いて、この大阪工業大学に入学した事と思う。 扱、諸君が入学して早や一ヶ月が過ぎ、大学にも慣れてきたと思うが、諸君はこの大学生活をどのように過ごそうと考えているのだろうか。勉学に励む人、講義を終えてパチンコ・麻雀にかけつける人、また講義もさぼりアルバイトに専念する人等、色々な大学生活があると思う。 そこで、諸君が大学生活の四年間を過ごす前に一度「若さとは...? 大学とは...?」と、考え直して欲しい。若さとは、理性と情熱であり、この二つを備えている者こそ真の若者と言えるのではないだろうか。どんな壁に対しても体ごとぶち当たり、はねのけられても何回も挑戦するのが若者の姿であると思う。また大学とは、勉学は勿論の事だが、人間形成を行なう自分の考え方・見方を広げ発展させ、また対人関係を学ぶところではないのだろうか。ただ自己満足な場と化したものではない、大事に大学生活を無駄に過ごすという結果を招く事になると思う。すなわち大学とは、若さを生かし自分自身を鍛え磨くところだと思う。 大学生活を意味あるものにする為、特に諸君に言いたいのは、学内、学外で行なわれる諸行事に積極的に参加して戴きたい。そして母校愛を持って、工大生全員で母校の名を高め、輝かしい発展を遂げようではないか。諸君の中には「俺は工大が好きで入ったのだ」と言わなく、仕方なく入ったのだという学生もいるかもしれない。しかし、現在工大生であるという事実を隠し得ない。考え方を改めて自分の大学に誇りを持つべきだと思う。また意義ある大学生活を過ごす具体的な方法・簡単な方法としてクラブ活動に入る事だと思う。現在、本校には数多くのクラブがある。諸君が一人でも多くクラブ活動に入る事により、母校の発展にもつながる。又、個人に於いては、先輩・後輩の付き合いが出来、人とのふれあいが多々得られる。また私もそうだが、その時辛く厳しい事でも、今になってみると良き思い出になっている。四年間やり通したという自信が出来ると思う。本当にクラブ活動をやって良かったと思うのは、やり抜いた時に思う事だろう。諸君が意義ある大学生活を過ごすなら、若者に対して批判される三無主義(無気力、無責任、無感心)という言葉は工

OB 挨拶

大阪工業大学 應援團 OB 会 会長 塩崎 恭介

新入生の皆様、大阪工業大学へ御入学御出度う御座居ます。激しい受験競争の末、晴れて大学生となられました事を心から御祝申し上げます。皆様の一人一人が、これからの大学生活に対してそれぞれの夢と希望を抱かれている事だと思います。 昭和三十五年私も、其の様を思いで此の学園の門を潜った一人でありました。あれから丁度二十年、国の高度な成長と共に学園も又素晴らしい発展をしてきたと思えます。当時比べますと、研究設備や課外活動の設備も良くなり、恵まれた環境に少々羨ましく思いますが、しかし大学は学問と同時に 人間形成の場でもなくてはならず、将来社会に出て他人と調和の出来る人間になる事が大切で、職場に於いては、なくてはならない人物が多い様に見受けられます。ここで卒業生として苦言を呈するならば、青年としての覇気に欠け、連帯意識も少なく、悪く言えば利己的なのではないかと思えます。 確かに大学は、学問の探求をする処で、特に工大は工科と言った性質上理論と実習を習得せねばならず、卒業を目標として学生生活のウエイトをより多く勉強に置かねばならないのは、致し方ないと思えます。 私も学生時代此の応援団に所属し、団内の友は元より、活動を通じて、他クラブの学友や他の大学の学生、OB諸君を友人に得た事が、現在任事の上でもプラスとなつていきます。時折任事を離れ、旧友と会い閑談する事も楽しみのひとつで、スランプ脱出の最良の良薬となつて居り、又学園を訪れる時、先ず足を向けるのが団室で、そこが学園の中で一番心安らぐ場所です。現役の諸君と馬鹿話などしますが、若い人達の考えの中から意義ある意見も聞く事が出来、若者の気持ちを知る上で大変参考になります。これらの事は私にとって、人生を豊かにしてくれる一 つの事柄であります。そういう意味でも、私は学生時代クラブ活動を遣つて来た事が、現在でも意義深い事と感じています。 皆様は学生生活の最終で、且つ重要な学生生活を送る訣です。過ぎてしまえば、大学の四年間程短く思われる事はありません。それだけに振り返つて想う時に、悔いの残らない学生生活を送つてもらいたいのだと思います。



新入生諸君へ

應援團 コーチ 永田昌宏

新入生諸君、御入学おめでとう御座います。

五月に入り諸君も工大に慣れ、大学生という自確と誇りを持ち始めている事でしょう。私もつい四年前に君達と同じ様な心境で工大に入りました。大学とは、小、中、高校と違い全体的に自主的且積極的に行動せねばなりません。入学したならば何かやろうと思つていた私は応援団に入団した訳ですが、痛感させられたのが礼儀、規律でありました。大学生にもなれば社会から成人として見られま

私の見た応援団

(一般学生からの原稿)

四月になりプロ野球も開幕し、ベントレースも始まりました。いよいよこれから本格的にスポーツの季節になりました。

プロ野球放送をテレビで見ているとベンチの上で笛を鳴らし、旗を振って応援する。私設応援団があります。もちろんその球団にはまったく関係ありません。ただ、その球団が好きなんです。次の日仕事があろうと、試合が終るまで一生懸命応援し続けます。

ところで我が工大ではどうでしょう。立派な応援団があります。でも工大生には、応援団への関心が少ないと思います。工大には沢山のスポーツ系のクラブ、及び文化系のクラブとあります。そしてその他すべてのクラブに対して一部なりとも関わっているはず。それは、クラブに入っていない者は関係ないか

後輩に望む

体育会 本部 鍛冶屋 弘

新入生の皆さん、御入学おめでとうございませう。君達は、晴れて大阪工業大学の学生となったわけ

だと思ひます。同科生、先輩、後輩、先生方等、多くの人の接触が必要で、大学はその中から何れ程の知人、友人を持つかにかゝり、そこに必ず得るものがあります。前年度応援団は台湾へ訪問しました。そこでは林洋港主席を始め多くの方々と談話の場を持ち、淡江文理学院東方語文科学科の学生とも交歓会を行いました。これらの経験は思い出のみならず、日本を外視し、そこで得た知人も今後御付き合い願う事が出来ました。彼等とは文を使って意見を交換し、互いの向上を計っています。学生としてまだ失敗が許される四年間にサークル活動に参加するなどの活発な行動が許されるというのだから、勉強がおろそかになるから、と言つて、課外活動に参加しないから、と言つて、課外活動に参加する事によって、

IM4 G K

IM4 G K

我と応援団の付き合いは、友人を通じて、又、クラブを通じての付き合いである。まず、友人について語ると、新入生の時、彼とささいなきっかけから友人となり、二人共地方から出てきていて、下宿も近いという理由で友達としての付き合いが始まったのである。

また、一般学生の参加が少なすぎると思ひます。たとえば淀都戦にしても、試合はすべて工大の近くの大学で行なわれているのに、そして、皆の友達が一生涯懸命にしているのに……。高校野球を見ればわかると思ひますが、全員で母校を応援する姿は本当にいいものだと思ひます。まあこれを書いている私自身も人のことを言っているのではないのです。

一回生の間は、稽古がしんどいと小言を漏しながらも、毎日一生懸命やっていた。そのような彼を見てると、どんなに厳しい所だ、彼の事を心配したもどかたが、それでも毎日欠かさずクラブに顔を出すのは、何かいい所がある

文化会 本部 宮下孝之

大学というのは、君達にとって一体何なのだろう。大学生活の四年間というのは君達に何を与えてくれるのだろうか。その四年間で君はどう変わろうとしているのだろうか。

大阪工業大学とはいったい君達にとって何なのだろう。私達の大学が工系系の大学であるという点に社会に通用する人間を創りあげようという事になる。大学は四年間(あるいは、五年六年間)で君達に何を与えてくれるのだろうか。講義によって君達に求めたい知識は、君達の学業に必要な知識は充分得ることが出来る。しかし、講義を中途半端に受けて友達と話していたり、講義をいかにテスト前になると友達とのノートをコピーする。ただ単に単位だけとつても

IE3 J.N

IE3 J.N

みなさんは応援団について、どんな感じを抱いておられますか。「恐い」という潜在意識が働いて、自然と近寄り難くなつてはいませんか。実際、応援団は他のクラブと少しちがった雰囲気があると感

じておられるでしょうか。クラブ活動の経験がある学生諸君には、日常の講義で得られない人間関係が、クラブでは得られる事を知っておられるでしょうか。私たちが応援団もまた日頃の活動目標が違

うだけで、他は全く同じであると思ひませんか。それに、勉強だけをしに来ている学生やバイト・麻雀・パチンコなどに明け暮れている学生が目立つ中で彼らは工大の為に他のクラブと同じ汗を流しているが、一般学生にはその様な努力が知られていないのではないのでしょうか。実際、他のクラブの様

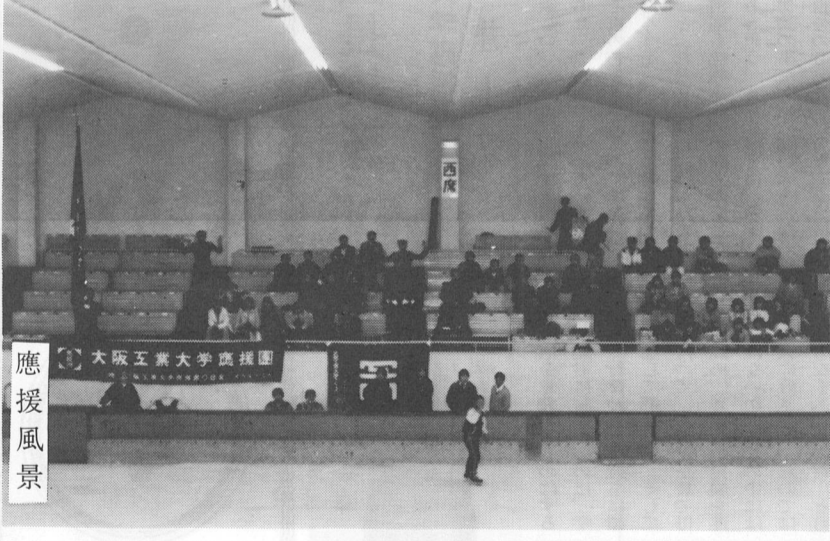
アイスホッケー部

対名工大第二十五回定期戦 応援記

応援記

冬の気配をひしひしと感じる昨

年十二月八日、大阪スケートリンクに於いて、大阪工業大学対名古屋工業大学アイスホッケー部定期戦が行なわれた。この定期戦、二十五周年記念という事で、盛大にやりたいとのアイスホッケー部の希望もあり、我々応援団も、出来るだけ盛大に考えていた。当日は、体育会の協力もあり、体育会各部の有志と一般学生、合わせて七十名余りが観客席に詰めかけた。試合は、終始我が部のペースで進み二対一で快勝した。当初、名工大は部員の数が多く、メンバー交代も多く出来る事や、過去の成績を見て、我が校が押し負け気味であった事などから、名工大有利ではなかつたと思われていた。アイスホッケーとは知つての通り、激しいスポーツであり、我が校は人数が少ないうえに怪我人も何人か出



応援風景

雀 麻

大宮荘はあなたの店です

直営食堂 オオミヤ

ティタイム 2:00~5:00
コーヒー・紅茶 ¥150

健康のために1日1食
中華料理をたべましょう

栄亭

TEL 952-1082

ALTECが鳴る
MODERN JAZZ. CROSSOVER
NEW MUSIC
COFFEE & CURRY

OF COURSE

オブコースは池田銀行向いです。

お気軽に御利用出来るみんなのお店

喫茶

ルーブル

COFFEE

Louvre

旭区中宮5-6(大阪工大正門前)
TEL. 951-2220

昭和五十五年度 幹部紹介

團長・情宣部長
井上弘康
(I・建築・4)
大阪・工大高校



副團長・リーダー部長
ブラスバンド部長
霜村文明
(I・建築・4)
鳥取・鳥取東高校



副團長・総務部長
山田喜三
(II・土木・3)
大阪・工大高校



工大に応援団あり、応援団に此のありと云われる程、此の人は人望が厚く、又、応援団一の体格を誇っている。

普段は明るく楽しい人であるが、いざ応援団活動に入ると人が変わったようにきびしい顔立ちとなり、近寄り難くなる。此の人の人格はまさに、団長の役職に付く為にあるようなもので、自分の信念を貫き通し、誰よりも応援団の事を考へている。

昨年度は、旗手部長として活躍され、夏の猛暑の中、冬の寒風の中、ひたすら応援団のシンボルである紫の団旗を持ち続けて来られた人で、一年間団旗を守って来た自信が、今年一年間応援団の柱である団長という役職を遂行して行くのに更に役立つ事であろう。

又、大変人付き合いも広く、他クラブや一般学生に数知れぬ程の友人がいる。そして後輩にも信望が厚く、皆に慕われている。

このように非常に厳格で柔軟性を持ち備えた人であるので、今年一年、応援団活動に全力を尽くし、今まで以上にこの大阪工業大学応援団を引っ張って、今後の応援団発展の為に、益々大阪工業大学発展の為に、益々力を注ぎ出して行くであろう。又、後輩は団長を盛り立て、今後の活動がより一層活発になるであろう。

彼は、II部生であるにもかかわらず、意欲的に応援団活動に取り組んでいる。

彼の口から出る「押忍」の挨拶は非常に大きく、高層な校舎に響き渡る。又、高校時代ブラスバンド部に所属して、トランペットをうまく吹きこなす。

この様に何でも器用にこなす怪物の様な人であるが、色々が事によく気付き、副団長として、団長不在の折にも、後輩に的確に指示される事であろう。又、気さくな心持ちの持ち主であり、後輩の面倒も良く見て下さり、良き先輩として後輩に親われている。

この様な人であるから、今年一年間、副団長、リーダー部長、ブラスバンド部長として、団長を補佐され、応援団活動がより活発になる様にと力を注ぎ、悔いの残らない応援団生活を送られる事であろう。

応援団の中において、団長に次ぐがっしりした体格の持ち主である。普段は楽しい人であるが、応援団のシンボルである団旗を持つている時は、近寄り難い人となる。又、渉外、会計部長でもあり、彼の真面目な性格と綿密な頭脳にびつたりと合った役職であろう。応援団の中では仲々の達筆でもあり、執筆関係を手引き受け、何事に対しても積極的である。

来たる六月中旬 第二回学内 弁論大会

弁論大会

昨年、淀祭期間に行なわれた第一回学内弁論大会に引き続き、本年度、六月中旬に、第二回学内弁論大会を開催する事になった。昨年の弁論大会は、特別審査員として、小松先生にも出席を御願いし、最後にお話をしてくださるなど、会場に来ていた学生諸君には、なかなか好評であった。しかし、淀祭期間中という事もあり、弁士ならびに観客は、ほとんどクラブ、あるいはサークルに入っている者だけであったのが残念であった。その為本年度は、一般学生が一人でも多く参加出来るようにと、六月中旬を選んだ。思うに、我が校では、ある事に対し、自分の考え、意見をみんなの前で発表した事、それを聞くという場がほとんどない。工科系の大学特有の現象ではあると思うが、こういう場が少ないという事は非常に残念な事ではなからうか。いくら工科系の一層の協力を切望する。



弁論大会

工大に入学して

△小川 洋一

工大に入学して、早や十日以上経ち、新しい環境が備わっている。また、新しい図書館が出来るといって、今から楽しみにしている。今の僕は、地下鉄千林大宮駅を降りる。高校まで歩いて通学していた僕にとって、この電車通学というのは、定期を持っていないという嬉しさもあるが、反面あのラッシュを目的にするときついものである。この駅から学校までがまた遠いのである。それにしても、この学校は男ばかりだ。工大に入学することが決ってから、女性の方は諦めていたが、やっぱり寂しいものである。教室に入り講義を受ける。工大は勉強が厳しいと聞いていたが、噂にたがわずきつものである。一日中時間割も、一年次は何故かすでに決められていて、驚いている。昼食は中央食堂を利用するが、安いし、量も意外と多かった。午後からまた授業の開始。ター

△忽那 康則

受験戦争という灰色の世界から脱出して花の大学生。楽しくて仕方がないはずなのに、何故か気が抜けてしまったみたいだ。一日中何もしないでゴロゴロしていたらだららら。何をやるにも億劫がっていた。入学する前は、あれもやろう、これもやろうと、思っていたのに入学してしまつと何もやる気がなくなり、自分が宙に浮いている様だ。

募集!!

應援團本部員

我々應援團では、活発に行動するため広く団員を募集しています。

交際を広くし、友達を増して学生生活を有意義に過ごしてみませんか。

我々應援團は民主的、且つ全学的な應援團を目的としています。

大阪工業大学應援團本部

ている様だ。そんな私に魂を吹き込んでくれたのが、応援団との出会いであり、入団した事である。もし入団していなかったら四年間、只何となく過ごす事になっていたであろう。それでは、何の為に大学に入学したのかわからない。大学で勉強する事は、勿論大切だと思っけれども、それだけでは足りない。本で学ぶ事の出来ない物、そういう物は沢山あると思う。人と人がぶつかり合つて、そこから何かを学び取る。そういう事は、素晴らしい事だと思ふ。人と人のふれあい、そこから私は生涯の友達になるような人を見つけた事も、大学ならではの事だと思ふ。今はまだ少数だけれども先輩も出来、友達も出来た。そのうちもっと沢山の友達を作る事が、大学に入学して一番考えている事である。

□新入生の諸君は、入学されて早くも一ヶ月が過ぎようとしていますが、そろそろ大学生活にも慣れ、精神的にも余裕ができて、課外活動に参加しようと思っっている頃だと思ひます。

扱って、我々大阪工業大学應援團は、発足以来、全学的な應援團を目指しています。その為にも君達のような新しい活気あふれる力が必要なのです。特に新入生諸君の中には、親しい友人や先輩もなく、味気無い生活を送っている人がかなりいると思ひます。今、若者の批判として三無主義とか自己本意主義とか言われていますが、若い活気あふれた力を発揮できるのは今しかないのです。この素晴らしい若き時代に何かに残る活動をやってみようではないか。必ずや素晴らしい大学生活になるでしょう。尚、詳しい説明、相談は、部室センター4Fの団室又は、団員まで来られたし。

幸寿司

TEL 954-9306

二階座敷
卒研各クラブのコンパ
忘年会新年会に御利用
下さい。

ピザとバーガー

サム

工大生協東入る



喫茶・軽食

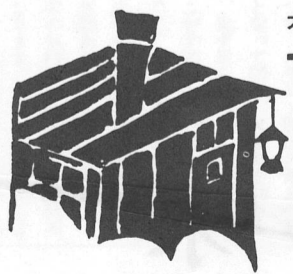
仔馬

中宮工大前店 TEL 954-5556

＝オールナイト営業＝

木のかおりのコーヒーハウス

TOGETSU

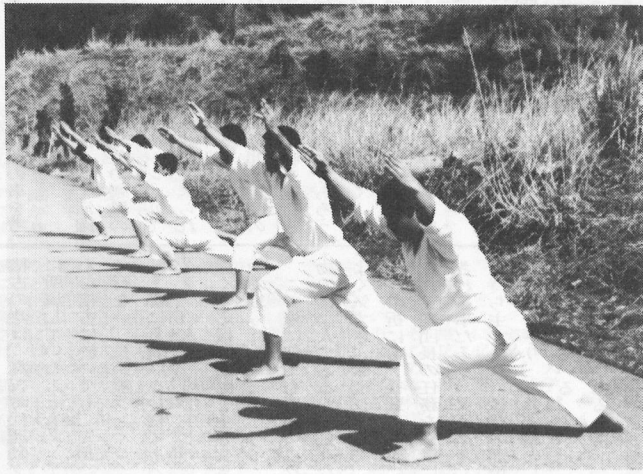


大阪市旭区中宮5丁目5-18
TEL. (06) 953-7613

AM 8:00~PM 10:00

春期合宿を終えて

期間 三月二十二日～三月二十九日
場所 福井県敦賀市元比田



稽古風景

春合宿を終えて

三回生 安田幸弘

今回の合宿は、三月十七日から三月二十一日まで前稽古、そして三月二十二日から三月二十九日まで福井県敦賀市の元比田という所で行なった。自分としては、これが四回目の合宿ということで、合宿に対する不安というものがなかった。そして、今回の合宿に対しては何か心に秘めた決意というものがあつた。しかし、やはり合宿というものは何回生になっても緊張するもので、出発の前日はほとんど眠れなかったのである。それでも全員気持ちを締め、三月二十二日の朝、大宮神社に合宿の無事を祈って合宿地へと出発したのである。

その日の夕方、全員無事に合宿地に到着、一安心と思いきやすぐに正座ということで、これからの合宿に対して気合が入った一日だった。しかし、その宿舎は民宿でも旅館でもなく、知人の家で、それだけ我が家で合宿を行なっているような感じがして、安らげる場所であつた。又、そのおばさんがとても良い人で、我々の面倒を

合宿日誌より

三月二十一日 雨

合宿初日から雨で、その上寒かった。敦賀という所は、遠い様で近かった。それから一時間の正座は少々きつかった。

このおばさんが楽しい人で、良かった。明日から稽古に精出して頑張ろう。

三月二十二日 天気複雑

なんと敦賀の早朝は寒いのだろうか。こんな寒い地方での合宿、いったい誰が考えたのだろうか。自分はこの寒さに、一言も言えない状態にある。

二十四日はマラソン大会があるとの事、今日のミーティングでコースを教えて戴いたが、なんと十九キロではないか。こんな長い距離を走るの、初めての自分に自分の目標を第二位と決めてしまった事に、今さら後悔している。自分の第一にゴールに来ると思っていたが……

今日、午前、午後と稽古着で基礎稽古をした。明日は、マラソン大会があるが、今から、足の裏は大丈夫だろうか心配である。

ところで今日の早朝は非常に寒かった。雨が降ったり、雪が降ったり、雪が降ったり、自分は、雪を見るのは久しぶりの事で、寒さが身に染みる様である。

三月二十四日 晴れ

十九キロのマラソンは、自分にとって最長のコースであつた。それだけに、今日走った事は、今後将来の人生に大きく役立つであろう。

午後一時、宿舎前を出発した。自分は、足に白い包帯をして、無我夢中で走り出した。途中先輩に追いつかれ抜かれたが、離れまいと先輩に着いて走ったのが良かった。最後先輩に着いて行った。しかし、何故一位にならなかつたのか、あそこまでついて行けたのだから、やはり先輩を抜きたかつた。それが後悔といえは後悔である。

三月二十五日 晴れ

早く、歌がきちんと歌える様にしたい。何故か、間違つて覚えた事が抜けきれなく、今、非常に困っています。誰か、歌がうまく歌える魔法でもかけてほしいものだからまた一段と気合を入れてやっつけていかなければならない。

今日の午後の稽古から部別稽古に入った。みんな気合が入っていたようだ。部別では自分の覚えていない新しい振りを入れて戴ける明日から楽しみである。

三月二十六日 晴れ

合宿も残す所あと二日、この合宿が有意義なものになる様に、気を引き締めていかなければならない。部別に入った今こそ、自主的に、積極的に稽古に望まなければいけない。団旗のエルも出来る様にしたいし、型も早く覚え、きちんと振れる様にしたい。

三月二十七日 晴れ

明日、総合の稽古がある。自分は学生歌、応援歌、第二応援歌を振る事になった。一回できちんと決めたいものである。自分と田中さん間違わなければ、案外とうまく行くのではないかと。部屋で、型の稽古をするのは初めての事である。天井に手の先が当りそうで、なんとなく気持ち悪いものである。しかし、明日の為に、自分にかせられた任務だけは、果たさなければならぬ。

今日ついに手の血豆が潰れてしまった。田中や清水は、ブラバンは楽でええのよと言つておるが、そんなブラバンも、いないと困るのではないのかね。明日は総合があるので皆頑張つていいます。

三月二十八日 晴れ

一年を振り返って

昨年度一年間を振り返って見る。四月の入学式から始まり五月、六月と、応援、観戦、鑑賞を行なう。八月から九月にかけて、一大行事である中華民国台湾省訪問(夏期研修合宿)があり、普段の合宿とは少々違つたものであつた。稽古は少なからず、台湾省政府表敬訪問し、林洋港主席に御会い出来た。また、省議会で夕食会に招待して戴いた。省議会の於いては、大変珍しいパーティであつたとか、現地の新聞にも報道された。中日文化経済協会表敬訪問、国民党本部表敬訪問、中国音楽会鑑賞、バヤオリン演奏会鑑賞、他観光にて文武廟、玄奘寺、高砂部落、受天宮、国立故宫博物院、總統府、竜山寺、孔子廟、行天宮などを訪ねたり、自由時間もあつた。また、淡江文理学院東方語学科の同世代の学生と交流会、パーティなど交流を計つた。今でも淡江文理学院の学生と文通をしたり、大学に本を贈つたりしている。今後応援部では、四年に一度位海外に出る事を考え、国際的にも視野を広げて行きたいと思つている。

九月、十月と、応援、観戦、鑑賞を行ない、十一月の定祭(学園祭)期間中に模範店を出したり、初めての試みであつた第一回学内弁論大会、盛大さにも少しかけていたが、回が増すごとに盛大にな

る様に、学生諸君の協力を呼びかける次第である。ピアパーティ、演武祭は、ウィークデーという事もあり人数が少なかつたが残念だ。定祭期間中、クラブに入つていないほとんどの学生は、休み期間中だと感嘆している様だ。もっと積極的に参加して定祭を盛り上げて行くのではないかと。十一月、十月と、鑑賞、応援に行く。印象に残つたのがアイスホッケー部の応援。体育会、一般学生も参加し先生方も来て下さり七十余名の応援となる。(一人で多くの学生が応援団本部に入団して、尚一層の応援にしようではないか。学生諸君の意欲を期待する)応援した妻があつて不利とされていた工大が見事に勝つた。これからは一般学生の参加を求め多くの学生と一丸となって応援しよう。

後期アストを終え、各クラブは練習に励む。三月に卒業式、我々応援団だけでなく各クラブ連中がいつしよになり、先輩方を、大学歌を声高らかに歌い拍手で見送つた。一般学生の参加があつたら、もつといふ卒業式になつたであろう。卒業式を終え、我々は春期合宿を福井で行なつた。

積極的に活動に参加して大学生生活を有意義に過ごしてほしい。

体育会 各クラブ活動予定

- | | |
|-------------------------|-------------------------------|
| 柔道部 | 6・22 全日本理工科学生大会 於講道館 |
| 日本拳法部 | 5・25 全関西学生選手権 於大阪府立体育館 |
| バレーボール部 | 5・25 工大対追手門大 於大阪工大 |
| 6・1 工大対神戸外大 於甲南大 | |
| 剣道部 | 6・1 西日本剣道大会 於福岡市民体育館 |
| 6・8 関西学生剣道大会 於大阪市立中央体育館 | |
| ボクシング部 | 5・31 近畿学生ボクシングリーグ 於桜之宮スケートリンク |

- | | |
|--------------------------|----------------------------|
| ラグビー部 | 5・25 工大対産大 於工大 |
| 硬式野球部 | 5・22 工大対神戸商大 於大阪府大 |
| 5・23 工大対神戸商大 於大阪教育大 | |
| 5・29 工大対奈良教大 於和歌山大 | |
| 5・30 工大対奈良教大 於大阪教大 | |
| ハンドボール部 | 5・24 工大対龍谷大 於京都府大 |
| 6・15 22 新人戦 於大阪体育大 | |
| バドミントン部 | 6・4 淀都戦対経大 於経大 |
| 6・13 26 関西学生選手権 於臨海SC | |
| 卓球部 | 5・20、24 関西学生選手権 於大阪府立中央体育館 |
| アメリカンフットボール部 | 5・25 工大対桃山大 於桃山大 |
| 6・1、8、15 淀都戦 文化会本部 | |
| 6・1 ダンスパーティ 於南区グラウンドクイーン | |
| チケット・東中庭or本部 | |
| クラシックギター部 | 6・3 ジョイント独奏会 於森之宮小ホール |
| フォーク | 6・7 春の学外定期コンサート 於森之宮青少年会館 |
| 水上競技部 | 5・25 工大対和歌山大 於工大 |
| 落語研究部 | 5・29 太閤寄席 於森之宮労働会館 |

パチンコの
エリート
出します 出せます 出させます!!
工大学生の殿堂!!
2F: テレビゲーム・ビリヤード
大阪工大正門前通り
TEL (06) 952-2854

日替り「おめん定食」
お好み焼他
おめん
(小宴会に持ってこいの店)
営業時間: 午後6時-午前2時迄
中宮4丁目 高速道路下
TEL 954-6477

TEA ROOM
まるぐりっと
PHONE (954)9478
麻雀 大阪工大正門前通り
クラブ山
TEA & GRILL YAMA 大阪工大正門前通り

定食の店
善味
うまくて
ボリュームたっぷり!
TEL 952-0982